

# Flextile メディア製作時の入稿ガイド

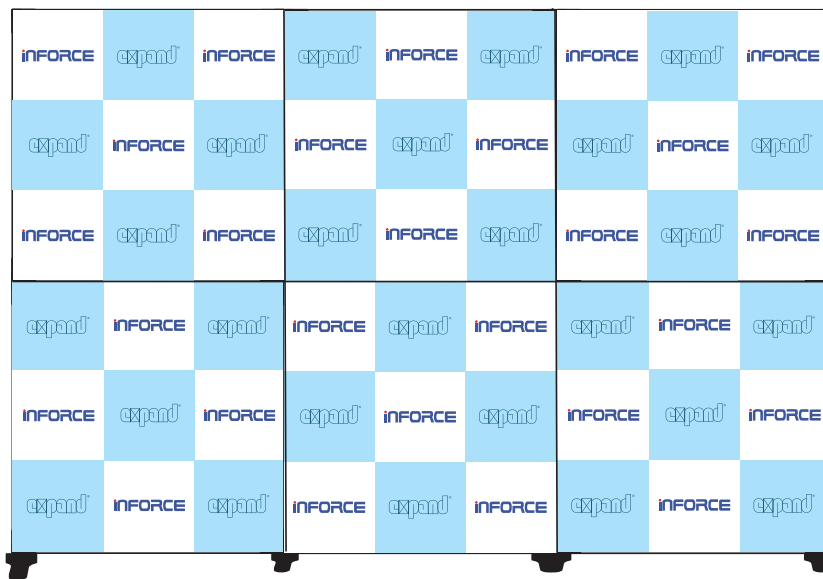
～ 1 フレームごとに製作する場合～

## ■市松模様の場合

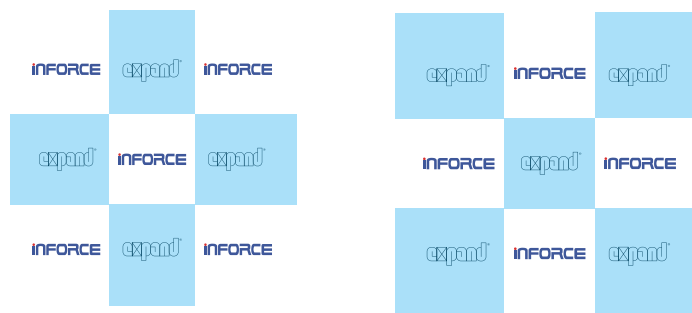
ブロックごとのデータ作成を推奨しております。

市松模様のデザインは、各ブロックを個別データとして作成してください。  
また、各ブロックの塗り足しは同じ色で延長してください。

【仕上がり例】



【入稿例】 ※各色のヌリタシを伸ばした状態で入稿をお願いいたします。



それぞれのブロックごとに塗り足しを設定することで、隣接するパネルのデザインに影響されることなく、色の境界を綺麗に表現することができます。

また、施工時にわずかな位置ズレが発生した場合でも目立ちにくく、安定した仕上がりとなります。

## ■写真や背景がつながるデザインの場合

1枚のデータでご入稿ください。

風景写真や製品写真など、全体で1つの絵柄になるデザインの場合は、ブロックごとに分割せず、完成形を1枚のデータとして作成してください。

また、Flextileは複数のパネルを組み合わせる構造のため、ブロック境界部分ではわずかなズレが発生する可能性があります。

そのため、文字やロゴがブロックをまたぐデザインは避けることを推奨しております。

【仕上がり例】

OK

文字がフレームの繋ぎ目に被らないような配置になっています。



NG

文字がフレームの繋ぎ目に被ってしまっていると綺麗に繋がらない可能性があります。

【入稿例】 ※画像はヌリタシを含めた状態で入稿をお願いいたします。



製作時に分割処理を行うことで、絵柄のつながりが自然になり、ブロック間でのズレを最小限に抑えることができます。また、デザイン全体のバランスやレイアウトを意図した通りに再現しやすく、より美しい仕上がりとなります。